

令和6年度動物由来感染症サーベイランス結果報告

大阪府では、動物由来感染症の発生を防止し、又はまん延を防止するため、環境農林水産部と健康医療部が一体となって動物由来感染症の積極的な検査（サーベイランス）を実施しています。検査の結果は、以下のとおりです。

令和6年10月31日現在

感 染 症 名	対象動物	検体	単位	令和6年9月まで			令和6年10月			令和6年度 計		
				検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性
結 核	牛		頭	0			0			0		
腸 管 出 血 性 大 腸 菌	牛・めん山羊	糞便(農家)	検体	79	0	79	0			79	0	79
	牛	枝肉 (食肉処理場)	検体	30	0	30	5	0	5	35	0	35
ウエストナイルウイルス感 染	蚊		匹	1455	0	1455	0			1455	0	1455
	野鳥	脳	羽	2	0	2	0			2	0	2
高病原性鳥インフルエンザ	鶏・アヒル	気管・クロアカスワブ	羽	180	0	180	30	0	30	210	0	210
		血清	羽	360	0	360	50	0	50	410	0	410
	野鳥	気管・クロアカスワブ	羽	22	0	22	0			22	0	22
	野鳥(渡り鳥)	糞便	検体	55	0	55	0			55	0	55
豚 イン フ ル エ ン ザ	豚	肺・鼻腔スワブ	頭	1	0	1	0			1	0	1
デ ン グ 熱	蚊		匹	1455	0	1455	0			1455	0	1455
ジカウイルス感染症	蚊		匹	1455	0	1455	0			1455	0	1455
チクングニア熱	蚊		匹	939	0	939	0			939	0	939
日 本 脳 炎	豚	血清	頭	40	5	35	0			40	5 ※1	35
	蚊		匹	1455	0	1455	0			1455	0	1455
ブ ル セ ラ 症	牛	血清	頭	0			0			0	0	0
レプトスピラ症	豚	腎	頭	1	0	1	0			1	0	1
	アライグマ	尿	頭	18	4	14	6	0	6	24	4 ※2	20
日 本 紅 斑 熱	アライグマ	血液	頭	60	29	31	10	5	5	70	34 ※3	36
狂 犬 病	犬	脳	頭	3	0	3	0			3	0	3
クリプトスポリジウム	牛	糞便	頭	0			10	0	10	10	0	10
	アライグマ	糞便	頭	60	3	57	10	0	10	70	3 ※4	67
B S E	牛	延髄 (食肉処理場)	頭	0			0			0	0	0
		延髄(死亡牛)	頭	0			0			0	0	0
豚 レンサ球菌感染症	豚	臓器・鼻汁	頭	1	1	0	0			1	1 ※5	0

※1 日本脳炎は、蚊の媒介によって感染するため、蚊に刺されないように注意しましょう。

※2 レプトスピラ症は、感染動物の尿に汚染された可能性のある水や土壌に素手で触れないよう注意し、また触れた場合は十分に洗浄、消毒してください。

※3 日本紅斑熱は、マダニ類に咬まれることにより感染する恐れがありますので、野山に入る時には肌を露出しない服装や、虫除けスプレーを使用する等、注意しましょう。

※4 クリプトスポリジウムは、汚染された水を飲むことにより感染することがありますので、野外で生水を飲まないようにしましょう。

※5 レンサ球菌感染症は、手指の衛生対策が重要です。手指等に外傷がある場合は、豚肉の取扱いの際に手袋を着用しましょう。